

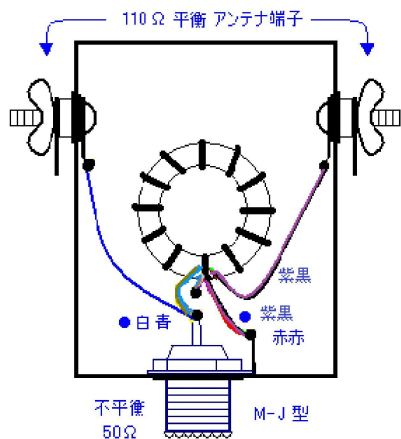
# アンテナバラン 組立部品セット DB-110-v2

50Ω 不平衡 : 110Ω 平衡 1.8MHz~60MHz  
 許容入力電力 : 連続 60W / CW SSB 130W  
 サイズ 50W × 75H × 30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

## ||||| 50Ω : 110Ω (112.5Ω) バランの作り方 |||||

- ①、0.32mm 3P (6本組線) を、コアに、12回巻きます
- ②、その被膜線の両端末とも、2本線(ペア)の3組を結線ねじり合わせます
- ③、巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします (結線のジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁しておく)
- ④、プラボックスにボルトナットM-BR (M型座) を取り付ける
- ⑤、巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑥、接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

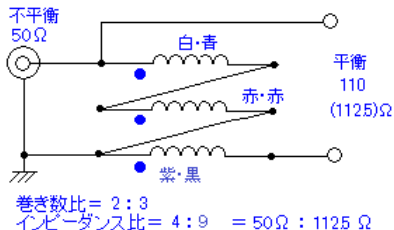
### 構成図



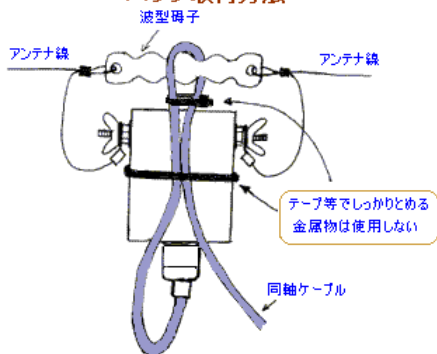
### 組立完成例



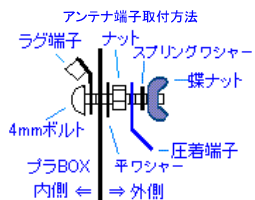
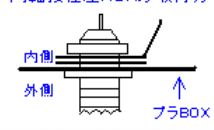
### 回路図



### バラン取付方法



### 同軸接柱座 MBR の取付方

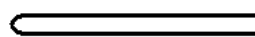


### 部品表

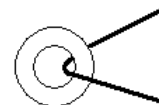
フェライトコア FT-82-43---1
0.32mm 3P被膜線-----40cm
M型接柱座 M-BR---1
ステンボルトナットワッシャー
蝶ナット、ラグ端子---2組
プラボックス---1
波型端子---1
結束バンド---2

## コアの巻き方

1. 0.32mm 3P被膜線 (6本組線) を半分ほどで折り返します



2. 3P被膜線 (6本組線) をコアに約半分の長さで通します



3. 半分の3P被膜線 (6本組線) を6回巻きます (コア内通過数)



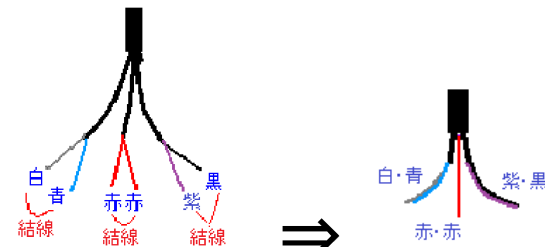
4. もう半分の3P被膜線を図のように同様に6回巻きます (コア内通過数)



合計12回巻きます

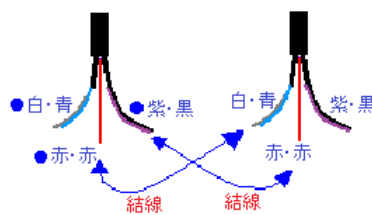
### 5. 端末処理

コアに巻いた3P被膜線の両端末とも、下記のように結線ねじり合わせます  
 白・青 / 赤・赤 / 紫・黒 各線を結線ねじり合わせます



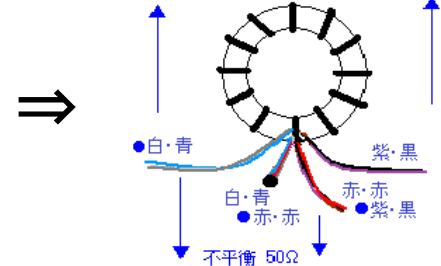
### 6. 端末配線

ねじり合わせた3P被膜線の両端末を、下図のように巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます

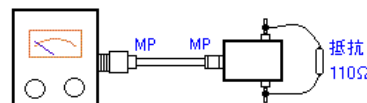


結線ジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁します (白・青、赤・赤 線)

平衡 110 (112.5)Ω



### SWR測定方法



アンテナ、SWR計、アナライザー など

バラン

抵抗は短く接続します  
 (コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

### コア完成例



有限会社 **大進無線**  
 〒410-0022 沼津市大岡 2223-14  
 TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>  
 E-mail [info@ddd-daishin.co.jp](mailto:info@ddd-daishin.co.jp)